

## 2004年メモリアルデー特別集会

### 標語

主の回復は、神の建造とキリストの再来のために、一、祭司職、王職、祭壇を回復することです。

神の願いは、わたしたちが神のために地上で住まいを建造することです。これはただ、わたしたちがこの世から解放され、神ご自身以外の何も持たないことによって、はじめて成就されることができます。

主の回復の中で、わたしたちは純粹にする働きを行ない、神の民を神聖な真理で構成する必要があります。それは、神の民が神の証し、神の団体の表現となるためです。

わたしたちは正常に進取的になり、心が純粹になって都の城壁を建造し、神の家としての召会を分離し保護する必要があります。

## メッセージアウトライン

メモリアルデー特別集会

2004年5月28日 31日

### 主題：神の家また神の王国としての召会を回復するのに極めて重要な要因

#### メッセージ 1

神の建造とキリストの再来のために、一、祭司職、王職、祭壇を回復する

聖書：エズラ 1:1-11 . 3:1-2, 9-13 . マタイ 16:18

- . 召会は何世紀もの歴史を通して墮落してしまったので、神の当初の意図にしたがって回復される必要があります。召会の回復は、イスラエルの子たちの捕囚からの帰還で予表されます エズラ 1:1-11 . 参照、ガラテヤ 6:16 . コリント 10:6 前半：
- A . イスラエルが捕囚から回復される特別な目的は、地上で神の選民の間に神の家としての宮を再建すること、また地上に神の王国を再確立して、神の永遠のエコノミーを完成することでした エズラ 1:2-5 . ネヘミヤ 2:17。
- B . 同じように、主がこの時代に召会を回復する特別な目的は、この回復におけるすべての聖徒を彼らの地元で共に集めて、多くの都市で神の家として共に建造されるようにすることです。そのような家を通して、神はご自身の王国を持って、ご自身のエコノミーを遂行します マタイ 16:18 . エペソ 2:19-22 . ローマ 14:17 . 使徒 1:8 . コリント 1:2 . 啓 1:11。
- C . イスラエルの子たちのレムナントが回復され、バビロンからエルサレムに来て宮と都を再建することは、召会のレムナントが主によって回復され、今日の分裂と混乱から当初の一の立場に戻って、神の家また神の王国としての召会を建造することを表徴します 17:1-6 . 18:2, 4 前半：
- 1 . 神の民は回復されて、バビロンから離れ、唯一の一の立場に戻る必要があります 申 12:5, 11-14 . 詩第 133 篇 . 啓 1:11。
  - 2 . 神の民は回復されて、良き地で予表される、すべてを含む霊としての計り知れない豊富なキリストの享受に戻る必要があります エペソ 3:8 . ガラテヤ 3:14 . 申 8:7-10 . コロサイ 1:12 . 2:6-7。
  - 3 . 召会の回復において、わたしたちはキリストのからだ、神の宮、神の家を建造しつつあります エペソ 4:11-16 . コリント 3:9-17。
  - 4 . 召会の回復において、わたしたちは王国の生活をして、神の王国の実際において命の中で支配しつつあります ローマ 14:17 . 5:17 . 参照、マタイ 5:3, 8 . 6:6, 14-15, 20-21 . 7:13-14。
  - 5 . これは神の当初の目的を成就します。神の目的とは、団体の人を得て神のかたちにおいて彼を表現し、彼の統治をもって彼を代行することです 創 1:26。
- . クロスの霊と、ユダ、ベニヤミン、レビの部族の指導者たちの霊を奮い立たせることは(エズラ 1:1-5)、隠れた神の働きでした(イザヤ 45:15)。神は、まき散らされていたげられていた彼の選民を、ひそかに顧みました。それは、エルサレムに神の家を再建するという彼の行動のためでした：
- A . 主の回復は、神によって奮い立たせられたわたしたちの霊から始まります。わたしたちの霊は神の住まいであり、キリストが天のはしごととして据えられた地上の基礎です。それは、神が人の中に建造し込まれ、人が神の中に建造し込まれるためです エズラ 1:1, 5 . エペソ 2:22 . テモテ 1:7-8 . 4:22 . 創 28:10-22 . ヨハネ 1:51。

- B . いったんわたしたちは霊の中で奮い立たせられると、「立ち上がり、上って行き、携え上り、建て上げます」。金と銀の器をバビロンからエルサレムに携え上ることは、キリストの豊富を召会の真の一という唯一の立場に携え上り、召会を建造することを予表します エズラ 1:3, 5, 7, 11。
- . 主の回復は、わたしたちの霊の中の一の回復です。わたしたちの霊の中にいることは、エルサレムに、すなわち単純さとの場所にいることですが、バビロンにいることは、わたしたちの思いの中に、すなわち混乱と分裂の場所にいることです エズラ 3:1 . ヨハネ 4:24 . 参照 , コリント 11:2-3 . 啓 3:14-16。
- . 神の家の建造は、ヨシュアで代表される祭司職と、ゼルバベルで代表される王職を必要とします エズラ 3:2 . 5:1-2 . ゼカリヤ 4:7-10 . ペテロ 2:5, 9 :
- A . わたしたちは祭司職を持つために、神と接触し、神に浸透され、神に占有され所有されて、神を人々の中に供給しなければなりません 参照 , 使徒 6:4。
- B . わたしたちは王職を持つために、主イエスの頭首権の下にいて、命を与える霊としてのキリストに、わたしたちの内側で支配していただかなければなりません コロサイ 1:13, 18 後半。
- . 神の家としての召会を回復するためには、祭壇を回復する必要があります。これは、神の建造のために真の献身を回復することです エズラ 3:2 :
- A . 祭壇はおもに全焼のささげ物のためです。全焼のささげ物は、絶対的に神のためであり、もっぱら神の満足のためである生活をするキリストを予表します 出 38:1 :
- 1 . わたしたちは毎朝、彼をわたしたちの全焼のささげ物とする必要があります レビ 6:12-13。
  - 2 . わたしたちは、自分であるすべて、持っているすべて、できるすべてを祭壇の上に置いて、神を満足させなければなりません。そうでないと、神の家を回復することは不可能です ローマ 12:1-2 . 参照 , 創 12:8 . 13:18。
- B . 神の証しとしての召会を回復するために、わたしたちは「上の部屋」の献身をし、代価を払って天のビジョンを得る必要があります。主の回復の道を取ることは、代価を払う献身、ナジル人の献身を必要とします 使徒 1:12-14 . 啓 3:18 . 参照 , 民 6:1-9。
- . わたしたちは神の選びの場所、一の真の立場に戻って来て、キリストという唯一の土台を据えました。主の回復の中で、わたしたちはただ、神の永遠のエコノミーの中心性と普遍性としてのキリストに注意します エズラ 3:9-13 . コリント 3:11 . 1:9 . コロサイ 1:17 後半, 18 後半。
- . 主の唯一の回復の中で、わたしたちは決して何の混合も持つてはなりません。わたしたちは純粹で、絶対的で、警戒しており、この世やバビロンからのあらゆるものを拒絶し、それと妥協してはなりません エズラ 4:1-5, 23-24 . 参照 , 啓 2:12-13 . 17:3-6。
- . 捕囚が戻るようにとの神の命令は、神の宮を再建するためだけでなく、道を備えて、キリストを第一回目に地上にもたすためでもありました。同じように、キリストは第二回目の到来のために、何人かの彼の民が捕囚から正常な召会生活に戻ることを必要とします ミカ 5:2 . エズラ 2:21 . ネヘミヤ 7:26 . マタイ 2:4-6 . 1:12-13 . ペテロ 3:10-12。